

『第5回学生が選ぶインターンシップアワード』企業応募募データ ①



企業・団体情報	
管理ID	200030
上場区分	非上場
従業員数	3, 000人～5, 000人未満
メイン業種	通信

ISタイトル

インターンシップ～PROTcation～

オリエンテーション 事前学習（実施項目）

事前のオリエンテーションは実施していない

オリエンテーション 事前学習 内容詳細（自由記述）

特になし

インターンシップ 実施項目

【疑似体験】ロールプレイングやシミュレーション形式の仕事体験 【疑似体験】課題に対するグループワーク（企画立案、課題解決、プレゼンなど） 【疑似体験】課題に対する個人ワーク 【交流】社員との座談会 【その他】職業適性・自己理解などを深めるワーク 【その他】人事や社員による講義・レクチャー 【その他】就職活動に対するアドバイス・レクチャー

インターンシップ 内容詳細（自由記述）

弊社のインターンシッププログラムは、全4日間のプログラムとなります。

プログラムの目的は、大きく以下の2点です。

①弊社の仕事内容を深く理解していただくこと
（その中での仕事における業務を履き、やりがいを知っていただくこと）

②プログラムを通して学生様が自己成長すること

プログラムの目的に弊社の仕事理解のみならず、学生様の自己成長を重視している点として、弊社に少しでも興味を持ってくださった方への「感謝の気持ち」があらわれます。

そのため、学生様にとって学びがあるプログラムを提供することにこだわっています。

1日目は、ビジネス上必要な、コミュニケーションの観点でワークを実施します。

より楽しく学んでいただくために、西暦開拓時代という架空の世界観のもとインターンシップを展開し、コミュニケーションを極めた観点から工夫すること、新たな気づきをお持ち帰りいただきます。

2日目は、顧客のビジネスを理解した上で、ICTソリューションを用いて「どのように課題を解決していくか」を考えていただく仕事体感ワークを実施します。

ICT業務を提供する経験の幅広さを、深く理解することが出来る仕事体感ワークになっています。

3日目は、1日目で学んだコミュニケーションの観点を活かしながら、顧客に対して、複数回のアポイントを通じて、交流を働き取る実践型のワークを実施します。

ワークの難易度は高くなっておりますが、実際のビジネスにおいて、求められる業務の高さを知り、高難を体感していただき、それを乗り越える過程で、弊社の仕事がいかに“やりがい”や“達成感”、“喜び”を感じていただきます。

プログラムの終わりには、顧客や人事担当から個別のフィードバックの時間を設けています。

個人の振り返りのみで終わらせるのではなく、「自身を客観的に見たときの強みや弱み」をお伝えすることで、より参加していただく学生様の今後の成長を後押しできれば良いと思っております。

4日目は、これまでの自分の過去を振り返りするフレイムワークを提供し、弊社の事業、仕事、組織との関わりを見つめながら、ご自身のキャリアを考えていただきます。

実際に参加していただきました多くの学生からは、「他のどの企業のインターンシップよりも、学びの多いインターンシップだった！」「とても好評をいただいております。満足度の高い研修では、9割以上の参加者に最高評価をいただいております。

協力社員数

2人

協力社員の属性

主任（チームリーダー）

具体的社員交流

4日目のプログラムでは、現場社員との交流の機会を設けております。

まずはキャリアの考え方を伝達し、実際にご自身のキャリアを考えていただいた後に、具体的な仕事内容をイメージできるような形で座談会を実施いたします。

このタイミングで実施する背景としては、学生様がご自身の価値観を整理した後に実施することで、ご自身が大切にしたい観点から考えた際に、弊社に対して聞いてみたいことを、質問することができると考えるためです。

オンラインでのインターンシップが主流になっている昨今、人事との接点はあっても実際に現場で活躍している社員との接点はどうしても少なくなってしまう。

そのため、本プログラムでは、現場で活躍しているエース社員が登壇し、学生様からの質問に何でもフラットにお答えします。

可能な限り学生様と現場社員との接点を濃密なものにするため、3～5名程度の少人数グループでの座談会を想定しております。

NO.

200030

インターンシップ情報																	
開催月	2021年8月		2021年9月		2021年10月		2021年11月		2021年12月		2022年1月						
実施回数	31		回		学生の受入日数			20		日		総受入人数		930		人	
対象属性（文理）	特に対象とする学部はない										単位認定		いいえ				
低学年参加	大学1・2年生の募集対象ではあったが特に積極的に募集は行っていない										産学連携		いいえ				
他企業などとの連携か？	いいえ			報酬・支給			支給なし			実働時間と賃金							
実施形式	全てオンラインで実施																

フィードバック手法

グループに対する口頭でのフィードバック 個人に対する口頭でのフィードバック

フィードバック時間

10分～20分程度

フィードバック頻度

プログラム期間中複数回実施した

フィードバック内容詳細（自由記述）

フィードバック（特に個別フィードバック）を行う場合には、多くの企業様が、学生様に好印象を抱いていただくことに注力される中で、弊社のインターンシップでは、好印象で終わらせるのではなく、学生様の成長のきっかけや学びを提供することを重視しています。

そのため、学生の良かった点のみをお伝えするのではなく、時には、厳しくも足りない点についてお伝えすることもあります。上記を行なっている想いとしては、長い就職活動期間の中で、「弊社だけでなく、他社様のインターンシップや選考でも、学びを活かし、活躍できる人材になってほしい」という想いがあります。

また、その学生様にとっての学びを深めるために、全体に対するフィードバックだけではなく、学生様ひとりひとりに対して、個別のフィードバックを実施しています。

学生様の弊社への志望度に関係なく、一社会人の先輩として、その学生様が1つでも多くの気づきを発見し、成長を促進できる、そのきっかけを掴めるように接することを意識しています。

フォローアップ 事後学習（実施項目）

学生自身によるインターンシップ経験の振り返り・学びの言語化 学生全体に対する評価・フィードバック 個人面談 インターンシップ終了後の定期的な連絡・フォロー 就職活動に対するアドバイス・レクチャー 社員との交流会

フォローアップ 事後学習（自由記述）

インターンシップ終了後には、面談という形で、就職活動の状況を伺いながら、学生様の就職活動における相談に乗っています。

面談を通して、学生様の価値観や就職活動の軸の選定、エントリーシート内容へのフィードバックを行い、就職活動の期間が少しでも有意義になるよう、サポートをさせていただいております。

特に意識しているのは下記2点です。

①座学のような、レクチャーのみではなく、実際にワークを通して体感していただくこと

②学生様がインターンシップに参加する前と後で、1つでも多くの学びや、今後の人生に活かせるスキルなどを、得られている状態を創り出すこと

また、学生様が楽しみながら取り組めることを重視し、前向きにご参加いただけることも大きな魅力の1つです。

教育的効果（自由記述）

意識していることは2点あります。

まず1つ目に、社会人として必ず求められるスキルをテーマに、コミュニケーションを基軸にしながら、業務内容を理解できるプログラムを構成していることです。

業務スキルや知識に偏らないプログラムとすることで、就職活動のみならず、大学生活を始め、私生活など、様々な場面において、学びを活かすことができます。

2つ目に、学生様ご自身が目標設定と振り返りを重視し、PDCAサイクルを回す感覚を身に着けていただけることです。

ワークを通じて、PDCAサイクルを回しながら自身と向き合い、自己成長を実現していく力は、大学での学業はもちろん、弊社に入社しなくても、社会人として必ず活きる力になります。

また、上記2点を実現するために、インプットだけに留めるのではなく、アウトプット機会を多く設けることで、実際に学んだ観点を実践の中で活かせる感覚（成長実感）を、お待ちしておりますような内容になっています。

改善活動（自由記述）

よりインターンシップを良い場にしていくための取り組みとしては、ご参加いただいた学生様から、参加後アンケートにて改善点を回答いただき、スタッフ全員での振り返りを実施しております。

参加後アンケートの中では、インターンシップにおける良かった点だけではなく、「思っていた点」について、学生様からの思惟ないご意見をいただき、次回以降の開催までに改善するよう心がけております。

また、学生が成長実感を得るための営みとして、参加後アンケートを活用しています。

インターンシップでワークを実施し、フィードバックをもらう形に終始することがないよう、実際にインターンシップでのご自身のパフォーマンスや、フィードバック内容を受けての印象などに対して、ご自身で言語化する機会を創ること、弊社のインターンシップだけで終わらせるのではなく、他社様でも能力を発揮できるように学びを棚卸する機会として活用しています。

なお、プログラム終了後には、弊社のリーダークラスの社員が、参加学生様と接点を持ち、直接個別にフィードバックする機会を設けており、個別フィードバックと共に、どのようなニーズがあるのかをヒアリングしています。